

お知らせ 山王

大田区立山王小学校

平成31年4月8日

山王こぼれ話

東京オリンピックが開催されるまであと一年となりました。大田区では、「仲良しプロジェクト」に取り組み、各小学校に世界の国々を割り当てています。山王小学校では、イギリス・ネパール・ニジェール・パラグアイ・モルドバ(敬称順)を担当しています。五年生の児童が興味をもった国を調べてまとめる活動をしていきます。

四月の生活目標

在校生は進級の喜びを、新入生は期待と緊張感を胸に、新年度が始まりました。今年度も、安全で楽しい学校生活を過ごせるよう全職員で指導して参ります。
今月の目標

きまりを守ろう

あいさつをしよう

楽しい学校生活は友達とのかかわり合いから生まれます。人と人との心をつなぐ大切なものが『あいさつ』です。新しい友達だけでなく、慣れ親しんできた友達にもすすんであいさつをして交流を深め、楽しい学校生活を送ることができると子供を育てていきます。

あいさつを通して、友達や先生はもちろん、地域の方々や主事さんなど、周りの人々と心をつないで、よりよい学校生活を送ってほしいと思います。

また、学校には「きまり」があります。学校は大勢の人が一緒に生活をする場所です。みんなが楽しく安全に過ごすためには約束事が必要です。それが「きまり」です。「山王のこども」には、校内生活のきまりや約束が書かれています。ご家庭でもお子さんと一緒に確かめて、山王小のみんなが安全で楽しい学校生活を送れるようにご協力をお願いします。
(生活指導部)

平成三十一年度を迎えて

校長 池口 洋一郎

さまざまのことおもひ出す桜かな 松尾芭蕉

芭蕉四十五歳の頃、かつて仕えた主人を思い出して読んだ句です。満開の桜を愛でながら、時間を超え、私たちそれぞれの人生とも響き合う句です。寒かった冬も終わり、満開に咲く桜を見てみると昨年までの様々な事を思い出し、そして「新しい年、また今年も一から頑張ろう」という気持ちにさせてくれます。

桜は、美しい開花のために厳しい寒さの中、幹や皮、小枝を含めて精一杯全身で準備してこの日を迎えています。表面に出ている美しさだけに目を奪われるのではなく、内面の美しさに目を向けることを教えてくれています。そんな意味でも桜は美しいです。

平成三十一年度、新一年生百四十名を迎え、前年度よりさらに一学級増加し、全校二十四学級、七百七十八名でスタートしました。ご入学、ご進級おめでとうございます。歴史と伝統ある山王小学校の校長として心を引き締めてまいります。

山王小学校の教育目標は『豊かで思いやりのある子』

『よく考え進んで学ぶ子』『丈夫な体でやりぬく子』です。意欲、協調性、忍耐力、粘り強さなどは非認知能力と言われますが、学力などの目に見える認知能力とは違い、この非認知能力を育成していく事が将来の「生きる力」の土台となるものと言われています。その意味でも、まず子供たちには「人と人の関わり」という視点から、土台に徳(心)を置き、その上で知と体を育成することで知・徳・体のバランスの取れた生きる力の育成を目指していきます。

本校では、学校マネジメント強化モデル校(東京都教育委員会H30.31)、教育研究推進校(大田区教育委員会H30.31)の二つの取組が継続します。

また、平成三十一年度は、新学習指導要領実施の移行準備の最後の年となります。各教科の変更点を基に、全教室に配置された「機器」を有効に活用しながら、「主体的・対話的で深い学び」というキーワードを大切にして授業を進めます。

小さなことでもわからないこと、相談等ありましたら担任を通して学年、学校までご連絡ください。

本校の教育活動にご理解、ご協力いただき、山王小の子供たちにご支援を賜りますよう今年一年どうぞよろしくお願いいたします。